

25年10月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成25年 9月20日～ 10月10日

2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は17社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/10月	11月	12月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 32.1	△ 14.3	3.6
	マツ	△ 25.0	4.2	8.3
	広葉樹	△ 9.4	△ 6.3	△ 3.1
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 3.8	3.8	0.0
	マツ	0.0	0.0	△ 4.2
	広葉樹	10.0	6.7	△ 3.3
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 32.1	△ 17.9	△ 10.7
	マツ	△ 19.2	△ 7.7	△ 3.8
	広葉樹	△ 11.8	△ 8.8	△ 8.8

チップ原木の入荷は、スギ・ヒノキは10、11月のマイナスから12月は小さなプラスに、マツは10月のマイナスから11、12月は小さなプラスに、広葉樹はマイナス基調で推移。消費は、スギ・ヒノキは10月のマイナスから11月の小さなプラスを経て12月は横ばいに、マツは10、11月の横ばいが12月は小さなマイナスに、広葉樹は10、11月の小さなプラスから12月はマイナスに。在庫は、全品目ともマイナス基調で推移。

(2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/10月	11月	12月
スギ・ヒノキ	0.0	3.6	3.6
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

チップ原木価格は、スギ・ヒノキは10月のゼロから11、12月は小さなプラスに、マツ類及び広葉樹は横ばい基調で推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き) ・スギ・ヒノキの仕入れは、伐採時期も良くなり入荷増える見込み、消費は製紙会社受入れストップ、制限して減少傾向、在庫は入荷減で減少傾向、マツ類及び広葉樹は変動なし。・広葉樹伐採が始まるので10月から仕入れ増加。仕入れ、消費とも変動なし、在庫は9月末に減少。・チップ生産量割り当てに基づき仕入れを行う。広葉樹原木の在庫は計画に基づき調整。仕入は天候不順で入荷減少、在庫は特に広葉樹が1.5ヶ月分から1.0ヶ月に減少。・合板材の動き活発なためか動き鈍い。消費・在庫は先月と同じ。・広葉樹の仕入れは台風18号による作業道被害で入荷少ない。消費は全体的に減少傾向。入荷減により在庫減。・スギ、ヒノキは国有林のシステム販売、民有林材及び工事支障木で消化より多く入荷、広葉樹は支障木主体で入荷、マツは少量で変わらず。どの樹種も製紙用に増産、特に広葉樹は増産依頼ある。フル生産に係わらず入荷多く、在庫増。竹林整備で竹材が大量に入荷し始めている。・当社主力素材業者が広葉樹山を手がけはじめ針葉樹出材は減、広葉樹は大幅増。一部製紙会社の在庫調整のため針葉樹チップ増産し、原木消費増加・在庫減、広葉樹チップは入荷即使用の状況だったが入荷増え、在庫持てる状況に。・スギ、ヒノキ及び広葉樹は在庫過多調整。・仕入れ及び在庫は前月同様スギ、ヒノキは減、広葉樹やや増から横ばい、消費は製紙会社定期点検で休転の影響で広葉樹に影響。・スギ、ヒノキの入荷は現在ストップ、マツ及び広葉樹は9月前半の雨で山に入れず仕入れ思ったより無かった。特にマツ類の出材が大幅遅れ。順調に入荷、消費は製紙会社の指示で計画通り生産中。

(原木価格)

・変動なし。・スギ原木は若干値上がり、広葉樹原木は変動なし。売値に連動し価格変わらず。・先月と変わらず。・価格の変動なし。・変更なし。・横ばい。・変化なし。

25年10月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/10月	11月	12月
生産動向	スギ・ヒノキ	△ 3.8	0.0	0.0
	マツ類	0.0	△ 4.2	△ 4.2
	広葉樹	10.0	16.7	0.0
出荷動向	スギ・ヒノキ	△ 3.3	△ 3.8	3.3
	マツ類	4.2	0.0	0.0
	広葉樹	3.3	13.3	3.3
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 19.2	△ 15.4	△ 7.7
	マツ類	0.0	0.0	0.0
	広葉樹	△ 3.3	△ 6.7	△ 6.7

木材チップの生産は、スギ・ヒノキ及びマツ類は横ばいないし小さなマイナスで推移、広葉樹は10、11月のプラスから12月は横ばいに。
出荷は、スギ・ヒノキは10、11月の小さなマイナスから12月は小さなプラスに、マツ類は10月の小さなプラスから11、12月は横ばいに、広葉樹はプラス基調で推移。
在庫は、スギ・ヒノキ及び広葉樹はマイナス基調で推移、マツ類は横ばいで推移。

(2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し) W.

品目	25/10月	11月	12月
スギ・ヒノキ類	0.0	△ 3.6	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

チップ出荷価格は、スギ・ヒノキ類の11月の小さなマイナスを除いて総じて横ばい基調で推移。

モニターからのコメント

(チップの荷動き) ・製紙会社休転分を10月に増産、12月入荷多いため広葉樹在庫増える見通し。
・マツ類、広葉樹とも出荷予定は安定。

(木材チップ価格)

・10月に一部製紙チップ価格値下げ。
・燃料コスト値上がりで輸送コスト厳しくチップ価格の値上げを製紙会社に御願しているが、なかなか厳しい状況。
・変動なし。上期(4月から)値下げも下期も同じ価格。・先月と変わらず。・下期価格について変動なし。・全く変化なし。
・横ばい。・前月同様。